

第 35 期
事業報告書

自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日

株式会社 秩父開発機構

第 35 期 事 業 報 告 書
自 令和3年4月 1日
至 令和4年3月31日

当社は令和4年3月31日をもって第35期事業年度を終了いたしましたので、事業の概況並びに決算等につきまして、ご報告申し上げます。

1 事業の概況

(1) 事業の経過及び成果並びに対処すべき課題

当期は事業35年目を迎え株主の皆様をはじめ関係各位のご支援を賜る中、埼玉県からの「秩父ミュージックパーク」と「埼玉県長瀬射撃場」の指定管理業務を事業の柱に据え、秩父地域の振興に寄与するため各種事業展開を進めてまいりました。

秩父ミュージックパークでは、コロナウイルス感染症拡大防止のため、一定期間駐車場の閉鎖や、園内各所にソーシャルディスタンス確保のマーキング、消毒液の設置、検温の実施、利用者への注意喚起など、日常となりつつある新たな生活様式への対応策を施してまいりました。

公園管理業務においては、来園者に快適に利用していただくため、園地及び施設の維持管理、園内全般の清掃、警備などを日常業務として行い、継続中のモミジによる新名所づくりに向けた整備事業では、音楽堂前の西側植え込みに、実生から育成した15本のモミジ苗を地元認定こども園の園児達と一緒に植栽しました。

利用者サービスとしては、ユニバーサルデザインの整備や園内の案内板に英語を併記するなど、多様化する来園者に対応した取り組みや、地域に密着した公園づくりを目指すため、市民との協働活動としてホテルの生息地域の環境保全事業なども実施しました。情報発信としては、ホームページとSNSの活用や地元FMラジオ局「ちちぶエフエム」での提供番組などを通じ、公園PRと共にコロナ禍の現況もお知らせしています。

自主事業では、多くの集客となる事業は自粛とし、昨年好評であった「スタインウェイを弾いてみよう」などの少人数で密を回避できる事業のみ実施しております。また、新たな取り組みとしては、軽食堂ピエリアの営業において、公園内の梅園で採取した梅を原料に「完熟梅とミルクのジェラート」の販売を始めたほか、地元の飲食店組合との業務委託契約により、キッチンカーによる飲食物の営業を始めました。

また誘致イベントについては、ほとんどの恒例イベントやコンサートなどが開催中止となりましたが、昨年に引き続き「私立恵比寿中学コンサート」が万全のコロナ対策のうえ、野外ステージにおいて開催されております。

このように、依然コロナの影響が随所に残った1年でしたが、利用者満足度においては93.3%となり経営目標の80%以上を達成することができました。

長瀬射撃場においては、無事故運営を経営目標に掲げ、職員及び利用者など、射撃場に携わる人々の安全と危機管理意識の向上を図るため注意喚起の徹底を図るほか、安心して利用できる施設とするための場内整備と施設管理に努め、銃・火薬類による事故件数ゼロを当年度も継続しております。

また、コロナウイルス感染症対策として慣例となったソーシャルディスタンスの確保や、手指消毒液の設置、検温などに加え、技能講習の講義会場に空気清浄機の設置も併せて実施してまいりました。

利用状況としては、まん延防止等重点措置、緊急事態措置などの影響により、大会の中止や延期、学生の合宿見送り、一般利用者も自粛傾向にあり、利用者数は8,970人と前年度からは2,209人増加しましたが、例年と比べ依然低い数字となっております。

自主事業においては、銃所持許可の取得及び更新に係る、教習射撃、技能講習については、コロナ対策を施したうえ実施いたしました。が、猟友会を対象とした「安全狩猟射撃大会」、初心者を対象とした「ビームライフル初心者講習会」などの事業は昨年に引き続き中止としております。

また、新たな取り組みとしては、銃販売開業にあたり猟銃等販売事業と古物商の許可を取得したほか、空気銃の空気充填サービス開始に向け、圧縮空気ポンペを設置するなど、令和4年度の事業開始に向けた準備を進めてまいりました。

観光振興事業においては、テレビ埼玉の情報番組「マチコミ ちちぶだより」連絡協議会事務局として、番組制作に協力してまいりました。当年度もコロナ禍であることを考慮し、誘客の要素は控え、地域で活躍する人々にスポットを当てるなどの内容とし、全7回を放送しております。

また、地域振興活動への参画については、規模縮小で行われた芝桜の丘イベントにおける観光案内事業への協力を行っております。

第35期の主な事業は次のとおりです。

1 秩父ミュージックパークの指定管理業務の受託

① 公園施設の維持管理業務

- ・ 除草、芝生、植栽、高木・低木、林地、花壇、菖蒲田等の園地管理
- ・ 音楽堂・野外ステージ等の施設維持管理業務
- ・ 音楽堂・野外ステージの舞台照明音響業務
- ・ 園内清掃、警備業務、除雪作業 など全24項目

② 見どころ創出に向けた整備事業

- ・ 音楽堂前西側植え込み、モミジ苗15本植栽（地元認定こども園の児童協力）
- ・ 有害鳥獣の駆除による景観維持

③ 利用者サービスの充実

- ・ 秩父ミュージックパーク便利帳の活用
- ・ ユニバーサルサービスとしての「コミュニケーションボード」の活用
- ・ ユニバーサルデザインの整備
- ・ 英語併記の園内案内板の設置
- ・ バリアフリー対応として、スカイロードのブロック破損修繕

④ 市民活動の機会充実

- ・ 水生生物やホタルの生息域の環境保全活動（地元ネイチャークラブと協働）
- ・ チューリップ1万本プロジェクト（地元認定こども園の児童による球根植付）
- ・ 犬の散歩マナーアップキャンペーン（秩父保健所との協働）

⑤ 情報発信

- ・ オリジナルホームページとSNSの活用
- ・ パンフレット・ポスター・チラシ作成（園内マップ、紅葉、梅園など）
- ・ 教育機関等と連携した広報活動（インストラクター事業の案内など）
- ・ 秩父ミュージックパーク連絡会議の運営による公園内関係団体との情報共有
- ・ メディアを通じた情報発信（ちちぶFM、新聞、テレビなどへの情報提供）
- ・ テレビ番組・映画撮影等の行為許可

⑥ 自主事業

- ・ 野外ステージを使ってみよう
- ・ スタインウエイを弾いてみよう
- ・ インストラクター事業（ホタル観賞の夕べ、きのこ観察会 など13事業）
- ・ 埼玉西武ライオンズOB選手から教わる親子キャッチボール教室 など

- ⑦ 軽食堂ピエリアの営業
 - ・ ラーメン、カレー、そば などの飲食物の販売
 - ・ 梅園の梅を利用した「完熟梅とミルクのジェラート」の販売
 - ・ キッチンカーによる売店営業
- ⑧ 大規模イベント誘致
 - ・ 9/19-20 私立恵比寿中学コンサート（野外ステージ）4回公演 6,000人

※ 新型コロナウイルス感染症対策

- ・ 駐車場閉鎖措置 令和3年4月20日（火）～令和3年6月20日（日）
- ・ ホール座席、ベンチなどソーシャルディスタンスの確保のためのマーキング
- ・ 施設の消毒の実施 ・ 各所に手指消毒液の設置 ・ 検温の実施
- ・ マスク着用、密回避など利用者への注意喚起、協力要請（掲示及び園内放送等）
- ・ 室内の換気及びビニールなどによる遮蔽措置
- ・ テレワーク、仕事場の分散、2チーム制導入
- ・ 彩の国「新しい生活様式」安心宣言飲食店+（プラス）の承認
- ・ 園内トイレ12か所に水性石鹸入れを新たに設置 など

2 埼玉県長瀬射撃場の指定管理業務の受託

- ① 施設等の利用に関する業務
 - 利用者の受付、予約、利用案内等
- ② 施設、設備、物品の維持管理に関する業務
 - 設備維持管理、場内清掃、電子標的の整備点検、除草・植栽管理など21項目
- ③ 大会・合宿等の誘致
 - 主な射撃大会
 - ・ 関東学生スポーツ射撃選手権春季大会 7/1-4 249人
 - ・ 関東学生スポーツ射撃選手権秋季大会 10/12-15 271人
 - ・ 全日本学生スポーツライフル射撃選手権大会（分散開催）11/11-13 271人
 - ・ 関東高等学校ライフル射撃競技選手権大会 11/20-21 224人
 - ・ 全国秋季ピストル射撃競技大会（50m・10m）11/27-28 69人
 - ・ 全国冬季ピストル射撃競技大会（50m・10m）2/19-20 71人 など
- ④ 主な自主事業
 - ・ 教習射撃及び技能講習の実施 教習射撃16人、技能講習118人
 - ・ 銃保管業の実施
 - ・ 装弾及び標的の販売
 - ・ Tシャツ・キーホルダーなどオリジナルグッズの販売 など

※ 新型コロナウイルス感染症対策

- ・ 受付前などソーシャルディスタンスの確保のためのマーキング
- ・ 施設の消毒の実施 ・ 受付及び各射撃場入口に手指消毒液の設置 ・ 検温の実施
- ・ マスク着用、密回避など利用者への注意喚起、協力要請（掲示及び受付案内等）
- ・ 審査室等の換気及びビニールなどによる遮蔽措置
- ・ 技能講習講義会場への空気清浄機の設置

3 観光振興事業

- ① テレビ埼玉「マチコミ ちちぶだより」情報番組連絡協議会の事務局業務
 - ・ 秩父地域市町との連絡調整（年7回放映）
 - ・ 番組連絡協議会の開催 など
- ② 地域振興活動への参画
 - ・ 芝桜の丘イベント 会場における観光案内事業への協力

4 その他の事業

- ・秩父ミュージックパーク旧パー3ゴルフコース管理業務
- ・埼玉県長瀬射撃場環境保全業務 等

このような事業展開の結果、売上では、埼玉県から長瀬射撃場においてコロナの影響による減収分に対する委託料増額措置などもあり、売上高合計は1億9千308万3千円（前期比176万5千円増）となりましたが、コロナ前と比較した場合、依然低迷した数字となっております。また、営業利益は▲201万3千円（前期比286万2千円減）、経常利益は▲107万6千円（前期比290万3千円減）、当期純利益は▲129万1千円（前期比212万7千円増）となり、利益剰余金は1千39万5千円となっております。

今後の課題としては、秩父ミュージックパークと長瀬射撃場における令和5年度からの指定管理業務の受託継続を確実のものとし、進行中であるモミジによる観光スポット創出事業を計画的かつ着実に進め、将来的には集客策を図る中で、施設の利用率と収益の増加に繋がっていくことが挙げられます。

◇ 秩父ミュージックパーク



沿道の危険樹木の伐採作業



音楽堂 照明業務



児童によるモミジ植栽



スタインウェイを弾いてみよう



キッチンカーによる営業



私立恵比寿中学コンサート

◇ 埼玉県長瀬射撃場



小口径バックストップ廃弾回収作業



空気銃射場 廃弾回収及び清掃



関東学生秋季大会エアライフル 10m



全国冬季ピストル射撃競技大会 50m



教習射撃 大口徑



技能講習 講座

(2) 事業成績及び財産状況の推移

期別 区分	第32期	第33期	第34期	第35期
売上高(千円)	218,350	204,209	191,318	193,083
営業利益(千円)	5,834	579	849	△2,013
経常利益(千円)	6,378	827	1,827	△1,076
当期純利益(千円)	3,880	168	△3,418	△1,291
1株当たり当期純利益(円)	404.18	17.54	△356.05	△134.57
総資産(千円)	679,018	679,542	678,650	676,034
純資産(千円)	494,936	495,105	491,687	490,395
1株当たり純資産(円)	51,555.94	51,573.47	51,217.42	51,082.85

2 会社の概況

当期末(令和4年3月31日)の会社の概況は、次のとおりであります。

(1) 主な事業内容

- ア 秩父ミューズパークの指定管理業務の受託
(自主事業：軽食堂及び売店事業、各種イベントの実施他)
- イ 埼玉県長瀬射撃場指定管理業務の受託
(自主事業：標的・装弾販売、教習射撃及び技能講習の実施他)
- ウ ちちぶ観光情報番組の実施

(2) 株式の状況

当期末における株式の状況は次のとおりであります。

- ア 発行可能株式の総数 34,400株
- イ 発行済株式の総数 9,600株
- ウ 当期末株主総数 107名

(3) 主な大株主

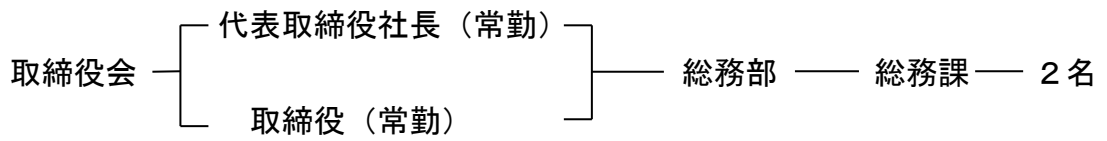
株主名	所有株式数	持株比率
埼玉県	2,460株	25.6%
西武鉄道(株)	960	10.0
秩父市	458	4.8
(株)埼玉りそな銀行	420	4.4
太平洋セメント(株)	400	4.2
西武建設(株)	300	3.1
(株)本郷会計	240	2.5
あいおいニッセイ同和損害保険(株)	220	2.3
秩父鉄道(株)	200	2.1
(株)武蔵野銀行	200	2.1
小鹿野町	170	1.8
損害保険ジャパン(株)	160	1.7

他に、日本瓦斯(株)ほか94社が株主であります。

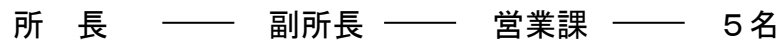
(4) 組織と従業員の状況

令和4年3月31日現在

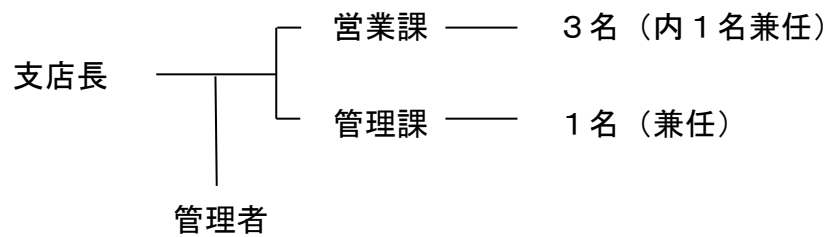
[本店]



[秩父ミュージックパーク管理事務所]



[長瀬射撃場支店]



従業員

区分	従業員数	前年比増減	平均年齢
男	6名	—	54.8
女	5名	—	45.4
計	11名	—	50.5

(5) 取締役及び監査役

令和4年3月31日現在

役職名	氏名	派遣団体等
代表取締役社長（常勤）	山口 民弥	元大滝村長・元秩父市収入役
取締役（常勤）	田代 勝三	元秩父市副市長・（一社）秩父観光協会 会長
取締役（非常勤）	北堀 篤	秩父市長
取締役（非常勤）	森 真太郎	小鹿野町長
取締役（非常勤）	大谷 隆男	秩父鉄道(株)代表取締役社長
取締役（非常勤）	西村 耕一	秩父商工会議所会頭
取締役（非常勤）	依田 龍也	西武レクリエーション(株)代表取締役社長
取締役（非常勤）	明石 勤	秩父太平洋セメント(株)代表取締役社長
取締役（非常勤）	石倉 直治	(株)埼玉りそな銀行秩父支店長
監査役（非常勤）	宍戸 佳子	埼玉県会計管理者
監査役（非常勤）	武島 健	(株)武蔵野銀行秩父支店長

下記の方から辞任する旨の届出があり、これに伴い登記を完了いたしました。

令和4年3月31日辞任届提出

取締役（非常勤） 西村 朗 氏

取締役（非常勤） 井部 徹 氏

貸借対照表

令和4年3月31日現在

単位：千円

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
[流動資産]		[流動負債]	
現金及び預金	519,279	買掛金	115,665
売掛金	130,065	未払費用	9,596
未収入金	4,101	預り金	236
棚卸資産	3,573	賞与引当金	3,108
前払費用	89	未払法人税等	528
仮払金	350	未払事業税等	1,539
貸倒引当金	△19	未払消費税	2,516
(流動資産合計)	(657,439)	(流動負債合計)	(133,193)
[有形固定資産]		[固定負債]	
建物付属設備	276	退職給付引当金	52,446
車両運搬具	6	(固定負債合計)	(52,446)
工具器具備品	440		
(有形固定資産合計)	(717)		
		負債の部合計	185,639
[無形固定資産]		純 資 産 の 部	
電話加入権	356	[株主資本]	
(無形固定資産合計)	(356)	資本金	480,000
		(資本金)	(480,000)
[投資その他の資産]		利益剰余金	10,395
預託金	32	(繰越利益剰余金)	(10,395)
長期繰延税金資産	17,488	(株主資本合計)	(490,395)
(投資その他の資産合計)	(17,521)		
(固定資産合計)	(18,594)	純資産の部合計	490,395
資産の部合計	676,034	負債及び純資産の部合計	676,034

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しています。

損 益 計 算 書

自 令和 3 年 4 月 1 日
至 令和 4 年 3 月 3 1 日

単位：千円

科 目	金 額
売 上 高 売 上 原 価 (売 上 総 利 益) 販売費及び一般管理費 (営 業 損 失)	193,083 93,624 (99,458) 101,472 (2,013)
受 取 利 息 雑 収 入 貸 倒 引 当 金 戻 入 賞 与 引 当 金 戻 入 (営 業 外 収 益) 雑 損 失 (営 業 外 費 用)	25 418 21 548 (1,013) 76 (76)
経 常 損 失	1,076
税 引 前 当 期 損 失 法 人 税 等 法 人 税 等 調 整 額 当 期 損 失	1,076 1,367 △1,151 1,291

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しています。

株主資本等変動計算書

自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日

単位:千円

	株主資本				純資産合計
	資本金	利益剰余金		株主資本 合計	
		その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金 合計		
前期末残高	480,000	11,687	11,687	491,687	491,687
当期変動額					
当期純損益金		△1,291	△1,291	△1,291	△1,291
当期変動額合計		△1,291	△1,291	△1,291	△1,291
当期末残高	480,000	10,395	10,395	490,395	490,395

個別注記表

自 令和 3年4月 1日
至 令和 4年3月31日

I 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法

2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 法人税法の規定による定額法

3) 引当金の計上基準

ア 貸倒引当金 売上債権、貸付金の貸倒損失に備える為、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上する。

イ 賞与引当金 従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため支給見込額に基づき計上する。

ウ 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えて、簡便法により計算された当事業年度における退職給付債務額を計上する。

4) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。

5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

II 貸借対照表に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額 7,807千円

III 株主資本等変動計算書に関する注記

当該事業年度の末日における発行済株式の数 9,600株

IV 税効果会計に関する注記

繰延税金資産の発生の主な原因別の内訳

(繰延税金資産)

貸倒引当金	6千円
未払賞与引当金	951千円
退職給付引当金	16,060千円
未払事業税等	471千円
繰延税金資産計	17,488千円

V 1株当たり情報に関する注記

1株当たり純資産額 51,082円85銭

1株当たり当期純利益 △134円57銭

監査報告書

株式会社 秩父開発機構

代表取締役 山口 民 弥 様

私は、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの第35期事業年度に係る計算書類及びその附属明細書を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

なお、当会社の監査役は、定款第27条に定めるところにより、監査の範囲が会計に関するものに限定されているため、事業報告を監査する権限を有しておりません。

1. 監査の方法及びその内容

私は、取締役等から会計に関する職務の執行状況を聴取し、会計に関する重要な決裁書類等を閲覧いたしました。また、会計帳簿及びこれに関する資料を調査し、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

令和4年 5 月 26日

株式会社 秩父開発機構

監査役

武 島 健 

奥 戸 佳 子 